



スモールサンゼミ 京都通信 12月号

2018年12月18日
第16号

11月ゼミ報告

内容報告 報告者 奥田英詔

この号の内容

1 テーマ

「中国経済・ビジネスの最前線」

2 講師

産業タイムズ 上海支局長
黒政 典善 氏

3 アンケートより

整理整頓を習慣化する→自分が率先する

“ゼミでの一言”

①大気汚染、食品案税問題、知的財産権侵害といった問題は、無くなってないが、主要な問題ではなくなった」

②ZTE ショック。中国脅威論

③習近平は挫折と苦しみを知っている指導者。これまでの指導者とは違う

・2015年から日本に来ていた中国人が増えている。ビザの解禁と、一番大きいのは為替。倍位違う。1000元が一番いい時で2万円。悪い時は1万3000円位

・「中国製造2025」：新中国設立100年のタイミング2049年に中国が世界の一流国になるためのガイドラインが書かれている。半導体はじめ、最先端の製品を作って、経済活動を行っている姿を目指している

・「一带一路」 陸（一带）と海（一路）のセットで経済圏を作る構想

・中国の高速鉄道 日本より既にはるかに長い距離（10倍）の線路ができています。高速道路も凄い速度でできています。中国は土建国家。エネルギーインフラ作りが得意。中国は超高電圧での電力送電をおこなっている

・河北省 張北フレキシブル3GW送蓄電PJ（風力+太陽発電）（原発1機で1GW）

・スマホメーカー台数 サムスン3億 アップル2億 ファーウェイ1億 これ以下のメーカーほとんど中国。サムスン、アップル以外は中国メーカーといっていける数

・携帯基地局メーカー ファーウェイ、ZTE、エリクソン の3社 5Gになっても3社が必要

・空気を汚していたのは、石炭火力発電（80%）→2030年には石炭火力発電が40%まで下がる。

・現在の支払い決済方法は現金を不要としている社会を作った。銀行窓口やATMがなくなっている。道端の店でもQRコードで払えない店はない。

・アリババのネット生鮮食品「盒馬鮮生」朝8時に頼んだら、8:30に配達。

・「CLM 諸国」 ミャンマー、ラオス、カンボジア 3か国併せて国家予算は、中国の1%以下。AIIBから貸し出しをおこないインフラを作る。お金が払えないから、発電所の権益を中国がもらう。中国資本が投下されている。気が付くと、新規の発電所の資本80%が中国資本。覇権をすすめている

・中国IT企業の台頭/脅威論 2020年に中国はどうなる？GDP成長 給料は倍になる。日本がかつて歩んだイメージで中国が発展→安定経済へとなる

・1人あたりGDPが1万3000ドルに達すると、ハイテク化がおきる。中国はまだ少し足りない。

ゼミアンケート内容より

・今の中国の情報を知れてよかった

・日本ブランド、京都ブランドをどうみせていくか？

・アメリカの繁栄は、シェールガスの影響がある。中国は米国以上に埋蔵

・監視されることより利便性。日本ではすすまない



『スモールサンゼミ京都 12月忘年会ゼミ』

ゼミ京都では、人が成功するために必要な力として、他人の力を借りること＝3原則の一つ「つなぐ力」と捉えています。

12月ゼミではこの人と人のつながりの実践のため、忘年会ゼミを開催いたします。皆さんと楽しく過ごしながらか、自由に対話していければと思います。

今回は、お知り合いのゲストの方も大歓迎です。是非多くの方の御参加をお待ちいたします！



2018 年 12 月 18 日(火)

第一部(講師人財育成プロデューサ 竹内健二)

18:30～19:30

第二部(懇親会)

19:30～21:30

臨時料金 10,000 円

新・都ホテル 八坂の間



〒601-8412 京都府京都市南区西九条院町 17

京都駅八条口より徒歩 2 分